

2010年3月期 第1四半期 決算説明資料

キーウェアソリューションズ株式会社

(東証2部 3799)



ユビキタス社会の扉を開く鍵

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

【 第1四半期連結決算のポイント 】

景気後退の影響により企業のIT投資抑制が厳しく、
固定費および販管費削減に努めるも、
前年同期比 減収・減益

連結損益計算書概要

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第1四半期	第45期 2010年(平成22年) 3月期 第1四半期
売上高	4,566	3,362
売上原価	3,868	3,304
売上総利益	697	57
販管費	1,052	860
営業利益	△354	△803
経常利益	△438	△817
純利益	△299	△778

システム開発事業

(単位：百万円)

決算期 項目	第44期 2009年（平成21年） 3月期 第1四半期	第45期 2010年（平成22年） 3月期 第1四半期
売上高	2,458	1,912

売上高

- 昨年度下期以降自治体や企業のIT投資抑制により、大型案件の減少、一部開発案件の延期、契約締結までの期間の長期化等が続いており、各分野において、継続案件、新規案件ともに軟調に推移。
官公庁向けの比重が大きいため、第2四半期ならびに第4四半期に売上集中の傾向。

損益面

- 昨年度複数発生した不採算プロジェクトの影響が払拭できず、労務費、外注費等の増加、稼働率の低下が発生、大型案件の減少や既存顧客の原価低減要求等により収益が悪化。

総合サービス事業

(単位：百万円)

決算期 項目	第44期 2009年（平成21年） 3月期 第1四半期	第45期 2010年（平成22年） 3月期 第1四半期
売上高	2,107	1,449

売上高

- ERP事業、HP UX関連のインフラ構築事業、ならびにkeyCOMPASS事業のうち、システム・インテグレーション業務が軟調に推移。

損益面

- ERP事業やインフラ構築事業における既存顧客からの原価低減要求、不採算プロジェクトの残処理等が発生したため収益が低下。

ERP: Enterprise Resource Planningの略。統合業務パッケージと呼ばれ、受注・販売管理、在庫管理、生産管理、会計といった企業の基幹業務をサポートする情報システムパッケージ。

連結貸借対照表概要

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第44期 2009年(平成21年) 3月期	第45期 2010年(平成22年) 3月期 第1四半期
資産合計	11,075	9,941
流動資産	6,386	5,408
固定資産	4,688	4,533
負債合計	3,462	3,187
流動負債	2,248	2,117
固定負債	1,214	1,069
純資産合計	7,612	6,754
資本金	1,737	1,737
資本剰余金	507	507
利益剰余金	5,376	4,506
その他	△8	3
負債・純資産合計	11,075	9,941

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)

	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第1四半期	第45期 2010年(平成22年) 3月期 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	872	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	40	△383
計	523	△313
現金及び現金同等物期末残高	1,533	1,349

▶ 分野別の取組み

● システム開発事業

社会インフラ分野の情報システム構築の積極的アプローチ

官公庁、通信、放送、運輸といった当社が得意とする社会インフラ分野へ積極的にアプローチ

● 総合サービス事業

独自に培ってきたソリューション投入の積極的展開

医療、知的財産といった分野へのパッケージをベースとしたソリューション投入を積極的に推進
自社パッケージSaaSの展開

ERP事業領域の拡大

当社が得意とする販売管理、生産管理、財務会計等に加え、クレヴァシステムズが得意とする人事・給与を組みあわせて顧客に提供

経営目標達成のための解決策を提示する
コンサルティングサービスを提供

▶ 収益体質の強化

- ・プロジェクトにおける原価管理及び採算管理を強化
- ・製造間接費及び一般管理費の抑制
- ・グループ内製化の推進

医療分野、知的財産分野向け自社パッケージソフトを拡充

6月1日
プレスリリース

医療機関向けパッケージソフトウェア Medlas(メドラス)シリーズの新製品

～糖尿病患者へのチーム医療支援～

自己血糖値管理システム「Medlas-SMBG」の販売開始

「糖尿病患者」ならびにその「予備軍」が急増しており、その人口は2210万人(厚生労働省:2007年国民健康・栄養調査)と推定され、今後ますます増加傾向。同時に、糖尿病患者が自宅で血糖値を測定することができる血糖自己測定器も多種多様化の一途を辿り、病院における血糖値の測定データの収集・管理業務が煩雑化。

糖尿病患者が血糖自己測定器を利用して自宅で測定した血糖値を、血糖自己測定器の機器メーカーや機種によらず一元管理可能なシステム

4月1日
プレスリリース

知的財産権管理ソフトウェア「PATAS(パタス)」を大幅に機能拡張 「PATAS 2009 Edition」の販売開始

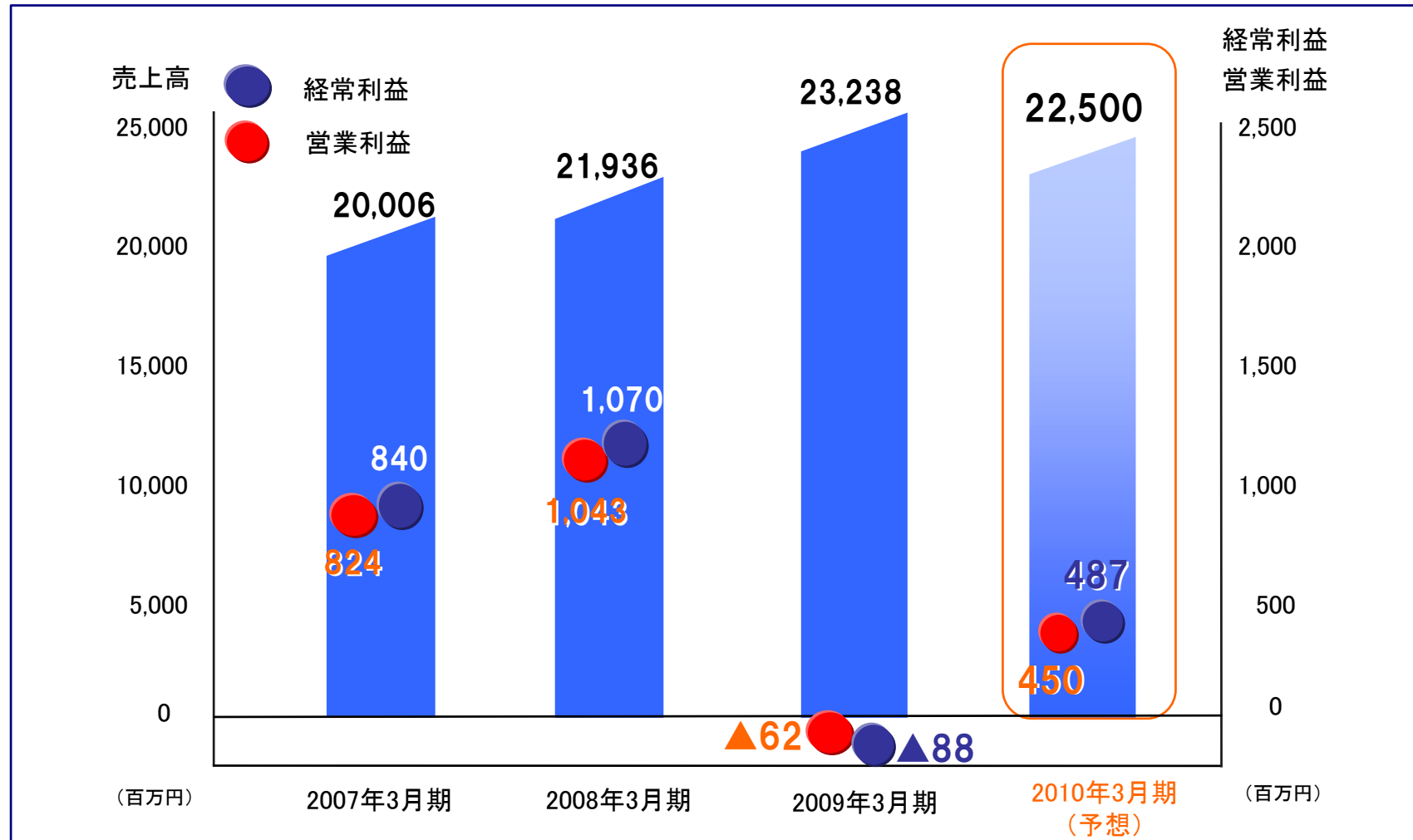
～企業の知的財産権管理業務の効率化と知的財産権管理情報の有効活用を実現～

2010年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

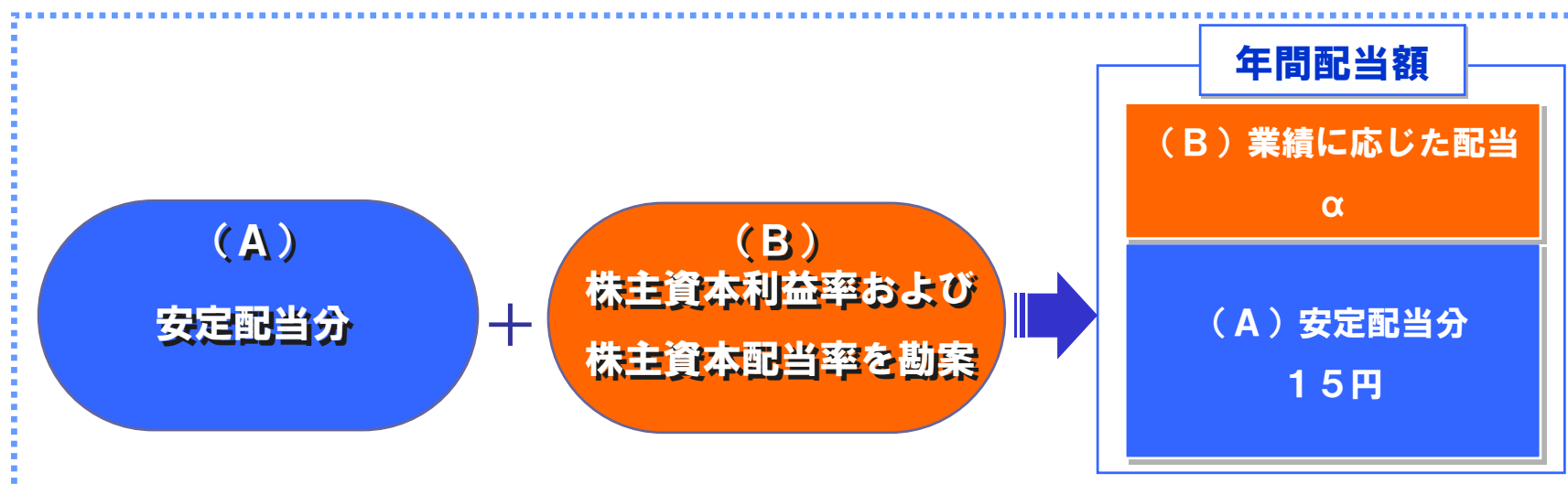
	第44期 2009年(平成21年)3月期			第45期 2010年(平成22年)3月期		
	実績		前期比	予想		前期比
	金額	百分比		金額	百分比	
売上高	23,238	100.0%	5.9%	22,500	100.0%	-3.2%
売上総利益	3,728	16.0%	-10.2%	4,250	18.9%	14.0%
営業利益	△62	-0.3%	—	450	2.0%	—
経常利益	△88	-0.4%	—	487	2.2%	—
当期純利益	△404	-1.8%	—	520	2.3%	—
1株当たり純利益金(円)	△44.39	—	—	57.08	—	—

前期比 売上高3.2%減、営業利益512百万円増の見込み



積極的な利益還元を図るべく、「業績連動型配当」を実施

当社は、株主の皆様へ積極的に利益を還元すべく、利益に比例して配当金を増減させる「業績連動型配当」を実施いたします。連結ベースでの株主資本利益率および株主資本配当率を勘案し、業績に応じた配当を実施することを基本方針といたしております。



※株主資本配当率 (Dividend On Equity)

配当金総額を株主資本で除した数値で、株主からの出資金や事業を通じて得た利益の蓄積である株主資本という「元手」に対し、どれだけの金額を配当という形で株主に還元しているかをみる経営指標です。株主資本配当率は、当期純利益を株主資本で除した「株主資本利益率」と、配当金総額を当期純利益で除した「配当性向」を掛けて算出することもできます。(この計算における株主資本とは、貸借対照表の株主資本の部より少数株主持分を除いたものです。)



KEYWARE SOLUTIONS

お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3226-3799